

仮想デスクトップ配信を最適化する シスコと VMware の共同ソリューション



Cisco Wide Area Application Services (WAAS) と Application Control Engine (ACE) が、エンタープライズ全体での VMware Virtual Desktop Infrastructure (VDI) の配信を最適化

概要

Cisco® Wide Area Application Services (WAAS) と Cisco Application Control Engine (ACE) を VMware® Virtual Desktop Infrastructure (VDI) と組み合わせることで、デスクトップ管理のコストと複雑さが軽減されます。コストのかかる WAN 帯域のアップグレードを行うことなく、WAN を経由する仮想デスクトップ配信が最適化されます。

- この共同検証済みのソリューションは、VMware VDI によるデスクトップの仮想化と中央集中管理に加えて、Cisco WAAS による Microsoft Remote Desktop (RDP) の圧縮と高速化およびブランチ オフィスでの印刷最適化を通して、従業員の生産性を高めます。
- Cisco WAAS によってスケーラビリティが向上し、WAN 上でサポートされる VMware VDI ユーザの数が増えます。また、Cisco ACE によってデータセンターの VMware VDI のアベイラビリティとスケーラビリティが向上します。
- データセンター VMware VDI のバックアップおよびレプリケーションに要する時間が短縮されるので、エンタープライズ ビジネス継続性が向上します。

ビジネス上の課題

VMware VDI などのデスクトップ仮想化ソリューションによって、従来の PC は仮想マシンで置き換えられ、データセンターから管理されるようになります。その結果、運用コストが削減され、デスクトップ管理が容易になります。また、ビジネス継続性と障害回復のための機能をエンタープライズ デスクトップでも利用できるようになります。

しかし、デスクトップ仮想化ソリューションが WAN を介して展開された場合は、遅延と帯域幅の制約が生じるため、仮想デスクトップ ソリューションの効果をフルに発揮させることはできなくなります。エンタープライズのための仮想デスクトップ ソリューションの展開にあたって直面する課題には、次のようなものがあります。

- WAN を経由すると RDP のパフォーマンスが低くなるため、従業員の生産性に影響が及ぶ。
- 大量の帯域幅が消費されるため、ソリューションのコストが増加する。
- スケーラビリティに限界があるため、サポート可能なユーザ数が少なくなる。
- 中央集中管理型の印刷のパフォーマンスが低く、ブランチ オフィスでの印刷コストが上昇する。

